

平成21年12月期 第1四半期決算短信

平成21年4月28日

上場会社名 株式会社 グローバルダイニング

上場取引所 東

コード番号 7625 URL <http://global-dining.com>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 長谷川 耕造

問合せ先責任者 (役職名) 執行役財務経理グループリーダー (氏名) 添田 裕一郎

TEL 03-5469-3223

四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第1四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第1四半期	3,629	—	△35	—	115	—	110	—
20年12月期第1四半期	3,874	△3.2	42	△32.4	△223	—	△269	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第1四半期	12.93	12.93
20年12月期第1四半期	△37.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第1四半期	11,274	5,939	52.5	589.58
20年12月期	11,181	5,357	47.8	752.02

(参考) 自己資本 21年12月期第1四半期 5,922百万円 20年12月期 5,342百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	—	—	5.00	5.00
21年12月期	—	—	—	—	—
21年12月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	7,558	—	115	—	252	—	168	—	18.25
通期	15,712	△4.6	343	25.0	455	—	287	—	29.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年12月期第1四半期 10,052,600株 20年12月期 7,111,400株

② 期末自己株式数 21年12月期第1四半期 7,755株 20年12月期 7,593株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年12月期第1四半期 8,574,376株 20年12月期第1四半期 7,103,967株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機の拡大により、百年に一度といわれる未曾有の景気の後退を受け、過去に経験の無いほどの激しい落ち込みを見せております。

外食産業におきましても、雇用情勢の悪化や個人消費の冷え込み等、厳しい状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、今後も続くと思われる厳しい経営環境下においても持続的な収益成長を可能とする事業基盤の確立を目指し、当社グループの成長を支える優秀な人材の登用や教育システムの整備、不振店・新店の業績向上、価格の見直し、メニューの改善、コストの削減など、積極的に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結会計期間における出店は、東京都豊島区に「表参道シュークリング」の第2号店と「デカダンス ドュ ショコラ “トゥレジュール”」の2店舗を3月にオープン致しました。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は65店舗となりました。

当第1四半期連結会計期間における売上高は、36億29百万円（前年同期比6.3%減）となりました。売上高をコンセプト（営業形態）別にみると「ラ・ボエム」は10億97百万円（同6.6%減）、「ゼスト」は3億53百万円（同6.4%減）、「モンズーンカフェ」は8億26百万円（同2.5%減）、「権八」は7億1百万円（同21.1%減）、「ディナーレストラン」は2億20百万円（同4.2%減）、「フードコロシウム」は2億39百万円（同12.4%増）、「その他」は1億91百万円（同34.9%増）となりました。既存店売上高につきましては、前第1四半期連結会計期間比8.2%の減収となりました。

利益につきましては、営業損失35百万円（前第1四半期連結会計期間は営業利益42百万円）、経常利益は為替差益を1億68百万円計上したことなどにより1億15百万円、四半期純利益は1億10百万円となりました。

なお、前年同期比につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して92百万円増加し、112億74百万円となりました。財務面におきましては、平成21年1月29日開催の当社取締役会に基づき、平成21年2月13日を払込期日とする総額5億円の第三者割当増資を実施し、自己資本の充実及び財務体質の強化を図っております。

流動資産は前連結会計年度末と比較して91百万円減少し、17億38百万円となりました。主な変動要因は、売掛金が81百万円、原材料及び貯蔵品が43百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して1億84百万円増加し、95億36百万円となりました。主な変動要因は、マカオの出店等にもなう建設仮勘定が1億67百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して1億77百万円減少し、38億66百万円となりました。主な変動要因は、未払法人税等が1億31百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して3億11百万円減少し、14億68百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が3億13百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して5億81百万円増加し、59億39百万円となりました。主な変動要因は、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2億50百万円増加したことなどによるものであります。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して6百万円増加し、5億26百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益1億4百万円、減価償却費1億43百万円、為替差益1億68百万円、たな卸資産の減額39百万円、法人税等の納付1億19百万円などにより、営業活動による資金は、93百万円のマイナスとなりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出1億87百万円、定期預金への預入1億80百万円、定期預金の払い戻しによる収入2億10百万円などにより、投資活動による資金は、1億61百万円のマイナスとなりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金1億50百万円の増加、長期借入金3億51百万円の返済を実施したことなどにより、財務活動により得られた資金は、2億60百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年12月期の連結業績予想につきましては、前回発表時（平成21年2月10日）に公表いたしました業績予想を修正しております。その内容に関しましては、本日付発表の「為替差益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当する事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期財務諸表に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この評価に伴う損益に与える影響はありません。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用)

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号)を適用しております。これによる損益へ与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	837,607	860,613
受取手形及び売掛金	373,639	454,914
原材料及び貯蔵品	193,329	236,986
前払費用	143,902	163,645
繰延税金資産	78,848	61,120
その他	111,050	52,960
流動資産合計	1,738,378	1,830,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,610,240	10,494,768
減価償却累計額	△5,760,450	△5,658,553
減損損失累計額	△1,232,961	△1,193,824
建物及び構築物(純額)	3,616,828	3,642,390
車両運搬具	10,741	10,188
減価償却累計額	△10,504	△9,933
車両運搬具(純額)	237	255
工具、器具及び備品	1,996,686	2,046,858
減価償却累計額	△1,592,864	△1,617,602
減損損失累計額	△30,353	△30,740
工具、器具及び備品(純額)	373,468	398,515
土地	3,039,989	2,957,335
建設仮勘定	345,390	177,974
有形固定資産合計	7,375,913	7,176,471
無形固定資産		
電話加入権	10,575	10,575
ソフトウェア	66,647	69,591
ソフトウェア仮勘定	—	1,186
その他	582	602
無形固定資産合計	77,804	81,955
投資その他の資産		
投資有価証券	9,148	10,551
長期前払費用	19,238	21,022
繰延税金資産	288,247	298,211
差入保証金	1,765,729	1,763,064
投資その他の資産合計	2,082,364	2,092,850
固定資産合計	9,536,082	9,351,276
資産合計	11,274,460	11,181,518

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	533,293	563,451
短期借入金	1,210,000	1,060,000
1年内返済予定の長期借入金	1,218,800	1,256,512
未払金	130,538	173,437
未払費用	525,511	719,496
預り金	53,836	31,019
未払法人税等	9,869	141,151
未払消費税等	98,476	82,877
店舗閉鎖損失引当金	25,000	—
その他	61,664	16,107
流動負債合計	3,866,991	4,044,053
固定負債		
長期借入金	1,419,600	1,733,000
退職給付引当金	32,018	30,484
店舗閉鎖損失引当金	16,500	16,000
固定負債合計	1,468,118	1,779,484
負債合計	5,335,109	5,823,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,472,118	1,222,116
資本剰余金	2,127,118	1,877,116
利益剰余金	2,544,677	2,469,347
自己株式	△9,670	△9,645
株主資本合計	6,134,243	5,558,935
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,219	4,051
為替換算調整勘定	△215,263	△220,759
評価・換算差額等合計	△212,044	△216,708
新株予約権	17,151	15,753
純資産合計	5,939,350	5,357,980
負債純資産合計	11,274,460	11,181,518

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
売上高	3,629,908
売上原価	3,329,211
売上総利益	300,697
販売費及び一般管理費	
信販手数料	32,474
役員報酬	7,350
給料及び手当	172,313
賞与	5,654
地代家賃	14,858
その他	103,942
販売費及び一般管理費合計	336,593
営業損失(△)	△35,896
営業外収益	
受取利息	122
為替差益	168,243
その他	5,408
営業外収益合計	173,774
営業外費用	
支払利息	14,032
株式交付費	2,702
その他	5,860
営業外費用合計	22,595
経常利益	115,282
特別利益	
訴訟和解金	33,398
特別利益合計	33,398
特別損失	
固定資産除却損	19,387
店舗閉鎖損失引当金繰入額	25,000
特別損失合計	44,387
税金等調整前四半期純利益	104,293
法人税、住民税及び事業税	637
法人税等調整額	△7,192
法人税等合計	△6,555
四半期純利益	110,848

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	104,293
減価償却費	143,126
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,533
受取利息及び受取配当金	△122
支払利息	14,032
為替差損益(△は益)	△168,243
株式交付費	2,702
有形固定資産除却損	19,387
売上債権の増減額(△は増加)	79,778
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,858
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,777
その他	△168,457
小計	42,113
利息及び配当金の受取額	122
利息の支払額	△16,247
法人税等の支払額	△119,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93,567
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△187,431
定期預金の預入による支出	△180,047
定期預金の払戻による収入	210,004
差入保証金の差入による支出	△3,142
差入保証金の回収による収入	572
その他	△1,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000
長期借入金の返済による支出	△351,112
配当金の支払額	△35,591
株式の発行による収入	497,301
自己株式の取得による支出	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	260,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,433
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,951
現金及び現金同等物の期首残高	519,905
現金及び現金同等物の四半期末残高	526,856

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)

事業の種類別セグメント情報は、すべての事業がレストラン経営を主とする飲食事業であるため記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年1月29日の取締役会において第三者割当てによる新株式発行の決議をおこない、払込期日である平成21年2月13日までに払込が完了しました。この結果、資本金、資本剰余金がそれぞれ2億50百万円ずつ増加し、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が14億72百万円、資本剰余金が21億27百万円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	3,874,177	100.0
II 売上原価	3,510,838	90.6
売上総利益	363,339	9.4
III 販売費及び一般管理費	321,043	8.3
営業利益	42,296	1.1
IV 営業外収益		
1. 受取利息	2,075	
2. その他	5,472	
営業外収益合計	7,548	0.2
V 営業外費用		
1. 支払利息	18,275	
2. 為替差損	253,976	
3. その他	686	
営業外費用合計	272,939	7.1
経常損失(△)	△223,094	△5.8
税金等調整前四半期純損失(△)	△223,094	△5.8
法人税、住民税及び事業税	6,255	0.2
法人税等調整額	40,523	1.0
四半期純損失(△)	△269,873	△7.0

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△223,094
減価償却費	165,265
退職給付引当金の増減額	△1,457
受取利息及び受取配当金	△2,325
支払利息	18,275
為替差損益	253,976
売上債権の増減額	86,974
たな卸資産の増減額	60,304
仕入債務の増減額	△142,456
その他	△69,810
小計	145,653
利息及び配当金の受取額	4,122
利息の支払額	△22,786
法人税等の支払額	△141,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,780
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△255,474
定期預金の払戻による収入	390,000
有形固定資産の取得による支出	△81,607
保証金の差入による支出	△37,496
その他	△2,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,194
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金増減額	350,000
長期借入金の返済による支出	△464,812
自己株式の取得による支出	△10
配当金の支払額	△35,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△150,341
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,802
V 現金及び現金同等物の減少額(△)	△161,730
VI 現金及び現金同等物の期首残高	525,815
VII 現金及び現金同等物の期末残高	364,084